

## 平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月7日

上場会社名 フタバ産業株式会社

上場取引所 東 名

コード番号 7241 URL <http://www.futabasangyo.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小塚 逸夫

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 市川 康夫

TEL 0564-31-2211

四半期報告書提出予定日 平成20年8月13日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	111,694	—	4,163	—	3,486	—	1,406	—
20年3月期第1四半期	104,147	23.7	5,817	27.2	5,544	17.6	2,961	2.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	20.11	18.27
20年3月期第1四半期	42.36	38.46

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	419,903	196,374	44.2	2,652.20		
20年3月期	418,013	198,030	44.7	2,671.41		

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 185,556百万円 20年3月期 186,901百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	210,000	△3.7	12,300	△3.2	11,500	△4.3	5,500	3.3	78.61
通期	440,000	△1.8	27,000	△1.5	25,300	1.8	13,000	17.7	185.81

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

(1)期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3)四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

①会計基準等の改正に伴う変更 有

②①以外の変更 有

詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4)発行済株式数(普通株式)

①期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 70,049,627株 20年3月期 70,049,627株

②期末自己株式数 21年3月期第1四半期 86,230株 20年3月期 86,045株

③期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 69,963,472株 20年3月期第1四半期 69,917,268株

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2.当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表等に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、原油高をはじめとする原材料価格高騰によるコスト増加から、企業の景況感は大幅に悪化し、設備投資が減速したことに加え、景気の牽引役の一翼を担っていた輸出も欧米景気の低迷から伸びが鈍化しましたので、景気の下振れ懸念が高まりました。個人消費もインフレの進行もあり弱含みとなりました。

当社グループの主要得意先であります自動車業界におきましては、国内販売の減少から軽自動車の生産は前年同期比減少しましたが、輸出が堅調に推移したことから、国内生産は前年同期比増加しました。海外では、米国、英国などの生産は前年同期比減少しましたが、中国など新興国の生産は引続き堅調に推移しました。

このような状況にあって当社グループは、お得意先各社の原価低減活動が厳しいなか、積極的な受注活動と全社をあげた原価低減、経費節減、業務効率向上に取り組んでまいりました。売上高、利益の状況につきましては、以下のとおりであります。

## (1) 売上高

当第1四半期連結会計期間における売上高は、国内生産ならびに中国などの現地生産が増加し、1,116億円(前年同期比7.2%増)となりました。

事業の種類別売上は、自動車等車両部品が1,050億円(前年同期比7.7%増)、情報環境機器部品等が43億円(前年同期比3.2%減)、治具溶接機が22億円(前年同期比7.1%増)となりました。

所在地別売上は、日本が798億円(前年同期比7.8%増)、北米が146億円(前年同期比13.1%減)、欧州が133億円(前年同期比3.1%増)、アジアが97億円(前年同期比4.1%増)となりました。

## (2) 営業利益

営業利益は、欧州・アジアが増益となりましたが、国内が減益となり、41億円(前年同期比28.4%減)となりました。

所在地別営業利益は、日本が15億円(前年同期比60.6%減)、北米が6億円(前年同期比30.0%減)、欧州が7億円(前年同期比138.9%増)、アジアが11億円(前年同期比14.6%増)となりました。

## (3) 経常利益

経常利益は、支払利息の増加などがあり、34億円(前年同期比37.1%減)となりました。

## (4) 四半期純利益

四半期純利益は、少数株主利益の増加などがあり、14億円(前年同期比52.5%減)となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の総資産については、有形固定資産の増加などにより、前期末に比べて18億円増加し、4,199億円となりました。

負債については、長短借入金の増加などにより、前期末に比べて35億円増加し、2,235億円となりました。

純資産については、四半期純利益の計上はありましたが、前期末に比べて16億円減少し、1,963億円となりました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

自動車の内外販売動向や為替動向が見通しづらく、その精査を行っているところであり、平成20年5月14日発表の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては変更しておりません。

## 4. その他

## (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

## (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## (簡便な会計処理)

## 1 固定資産の減価償却費の方法

減価償却の方法として定率法を採用しているものについては、当連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法によっております。

## 2 法人税等ならびに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降の経営環境や一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められることから、前連結会計年度において使用した将来の業績予測などを利用する方法によっております。

## 3 退職給付引当金

退職給付費用、数理計算上の差異の費用処理額、過去勤務債務の費用処理額については、それぞれ当連結会計年度に係る年間の費用処理額を期間按分して算定しております。

## (四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

## 税金費用の計算

一部の連結子会社における税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じる方法等により計算しております。なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

## (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

## 1 「四半期財務諸表に関する会計基準」の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 2 たな卸資産の評価基準の変更

当第1連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会平成18年7月5日企業会計基準第9号)を適用しております。評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。この結果、従来の方法によった場合に比べて、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益が572百万円それぞれ減少しております。

なお、セグメント情報に与える影響は従来の方法によった場合に比べ、所在地別セグメント情報の「日本」の営業利益が572百万円減少しております。

## 3 「連結財務諸表における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

当第1四半期連結会計期間から、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号平成18年5月17日)を適用しております。この結果、従来の方法によった場合と比べて、営業利益が45百万円減少し、経常利益及び税金等調整前四半期純利益が789百万円それぞれ減少しております。また期首の剰余金から767百万円を減算したことに伴い、利益剰余金が同額減少しております。

なお、セグメント情報に与える影響は従来の方法によった場合に比べ、「北米」地域の営業利益が45百万円減少しております。

## 4 在外子会社等の財務諸表項目の換算方法の変更

従来、在外子会社等の収益及び費用は当該子会社等の決算期末日の為替相場により換算しておりましたが、期間損益の適正化を図るため、当第1四半期連結会計期間より期中平均相場による換算方法に変更しております。この変更による損益への影響は軽微であります。

## 5. 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,532	13,918
受取手形及び売掛金	68,629	68,800
製品	4,432	4,877
原材料	2,450	2,220
仕掛品	39,416	38,978
貯蔵品	742	769
繰延税金資産	2,121	1,766
その他	11,657	9,901
貸倒引当金	△23	△22
流動資産合計	140,959	141,209
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	33,446	33,743
機械装置及び運搬具(純額)	122,251	110,819
工具、器具及び備品(純額)	20,651	17,877
土地	20,629	20,764
建設仮勘定	51,030	64,193
有形固定資産合計	248,009	247,397
無形固定資産	465	507
投資その他の資産		
投資有価証券	24,287	23,153
繰延税金資産	1,996	1,661
その他	4,221	4,121
貸倒引当金	△36	△36
投資その他の資産合計	30,468	28,898
固定資産合計	278,943	276,804
資産合計	419,903	418,013

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	59,017	67,589
短期借入金	56,709	36,248
1年内返済予定の長期借入金	3,891	3,418
1年内償還予定の社債	—	10,000
未払法人税等	1,099	3,972
役員賞与引当金	25	100
その他	25,269	25,685
流動負債合計	146,013	147,014
固定負債		
新株予約権付社債	14,722	14,722
長期借入金	46,483	42,911
繰延税金負債	6,902	5,955
退職給付引当金	8,316	8,409
役員退職慰労引当金	253	257
負ののれん	68	91
その他	767	620
固定負債合計	77,515	72,968
負債合計	223,528	219,983
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	11,820	11,820
資本剰余金	13,321	13,321
利益剰余金	151,231	151,641
自己株式	△139	△139
株主資本合計	176,233	176,644
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	8,992	8,293
為替換算調整勘定	330	1,963
評価・換算差額等合計	9,323	10,257
少数株主持分	10,817	11,128
純資産合計	196,374	198,030
負債純資産合計	419,903	418,013

## (2) 【四半期連結損益計算書】

(単位：百万円)

当第1四半期連結累計期間

(自平成20年4月1日

至平成20年6月30日)

売上高	111,694
売上原価	102,495
売上総利益	9,198
販売費及び一般管理費	5,035
営業利益	4,163
営業外収益	
受取利息	87
受取配当金	226
その他	518
営業外収益合計	832
営業外費用	
支払利息	689
為替差損	46
デリバティブ評価損	518
その他	254
営業外費用合計	1,509
経常利益	3,486
特別損失	
投資有価証券評価損	78
特別損失合計	78
税金等調整前四半期純利益	3,408
法人税、住民税及び事業税	1,312
法人税等調整額	△97
法人税等合計	1,214
少数株主利益	786
四半期純利益	1,406

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

事業の種類として自動車等車両部品及び治具溶接機に区分しておりますが、製品の使用目的及び販売市場等が類似すると判断しております。全セグメントの売上高の合計、営業利益の合計額に占める自動車等車両部品事業の割合が、いずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

[所在地別セグメント情報]

当第1四半期連結累計(会計)期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	74,161	14,619	13,300	9,611	111,694	—	111,694
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,651	0	1	137	5,789	(5,789)	—
計	79,812	14,619	13,301	9,748	117,483	(5,789)	111,694
営業利益	1,590	606	711	1,179	4,087	76	4,163

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国家又は地域

- (1) 北米 …………… アメリカ、カナダ  
 (2) 欧州 …………… イギリス、チェコ  
 (3) アジア …………… 中国、インド

[海外売上高]

当第1四半期連結累計(会計)期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

	北米	欧州	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	15,538	13,502	10,312	39,353
II 連結売上高(百万円)	—	—	—	111,694
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	13.9	12.1	9.2	35.2

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国家又は地域

- (1) 北米 …………… アメリカ、カナダ  
 (2) 欧州 …………… イギリス、フランス、チェコ、ハンガリー  
 (3) その他の地域 …… 中国、オーストラリア等

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 「参考資料」

## 前第1四半期に連結累計期間に係る財務諸表等

## (1) (要約)四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)
売上高	104,147
売上原価	93,578
売上総利益	10,568
販売費及び一般管理費	4,750
営業利益	5,817
営業外収益	
受取利息及び配当金	294
その他	360
営業外収益合計	655
営業外費用	
支払利息	624
その他	305
営業外費用合計	929
経常利益	5,544
税金等調整前四半期純利益	5,544
法人税、住民税及び事業税	2,110
法人税等調整額	△14
少数株主利益	486
四半期純利益	2,961



(2) セグメント情報

[所在地別セグメント情報]

前第1四半期連結累計(会計)期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	65,388	16,824	12,898	9,036	104,147	—	104,147
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,621	8	—	330	8,959	(8,959)	—
計	74,009	16,832	12,898	9,366	113,107	(8,959)	104,147
営業利益	4,037	865	297	1,029	6,230	(412)	5,817

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国家又は地域

- (1) 北米 …………… アメリカ、カナダ  
 (2) 欧州 …………… イギリス、チェコ  
 (3) アジア …………… 中国

[海外売上高]

前第1四半期連結累計(会計)期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)

	北米	欧州	その他の地域	計
I 海外売上高 (百万円)	17,357	12,960	9,906	40,224
II 連結売上高 (百万円)	—	—	—	104,147
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合 (%)	16.7	12.4	9.5	38.6

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国家又は地域

- (1) 北米 …………… アメリカ、カナダ  
 (2) 欧州 …………… イギリス、フランス、チェコ、ハンガリー  
 (3) その他の地域 …… 中国、オーストラリア等